

# OB会報

NO. 48 (2013. 10. 1)

三河郷友会OB会

## 女子寮建築の経緯および準備状況について

建築準備委員長・常務理事 中村 民雄

9月8日（日）に開催されました公益財団法人三河郷友会理事会・評議員会において、かねてより検討してきました女子寮建築が正式に認められました。理事会・評議員会に報告しました「女子寮建築の経緯および準備状況について」を、一部改訂し、書き加えて転載します。

なお、報告書は時系列にまとめたものでしたので、その形式にしがいました。

- ・H12. 11. 19 三河郷友会創立百周年記念OB総会において、亀嶋 謙理事長より「二十一世紀の男女共同参画社会を築いていくためには、女子寮の問題は避けて通れず、理事会としては女子寮を最優先の課題と位置付けている。」ことが表明された。それ以後、OBよりの改築積立金募金が始まる（『ある学生寄宿舎の百年—財団法人三河郷友会学生寮—』平成13年発行を参照のこと）。
- ・H18. 3. 28 岡崎市役所において開催された理事会・評議員会において「5年ほどかけて学生寮を改築する」ことが了承される。改築に際しては、男女いっしょの寮を模索することとなり、準備にとりかかる。3～4年かけて学生数の調整や新館（100人寮）の改装工事を年次計画で進めていくこととなる。
- ・H22. 9. 12 理事会において男女いっしょの学生寮建築を決定する。また、公益財団法人への移行手続きを同時に開始する。この段階では、新・旧館をすべて取り壊す案から旧館のみ取り壊す案が継続審議となり、平成25年度を目処にどちらで行くか検討することとなる。
- ・H24. 11. 4 東日本大震災で一時検討が中断していた学生寮建築について、理事会において建築準備委員会を立ち上げ、そこで集中的に検討することとなる。委員長：中村民雄、委員：大沼敏行・山田 渉・増村清人、事務長：酒井崇之。
- ・H25. 2. 3 建築準備委員会はすべてを取り壊す案から旧館のみ取り壊す案および女子寮建築について、あらゆる角度から検討した結果、旧館を取り壊し「そこに女子寮を建築する案」がベターであると結論付け、理事会に報告する。なお、新館（100人寮）は平成24年度までに改装工事が完了し、現在は男子寮として使用している。1Fの食堂は女子が入寮した暁には、男女いっしょに夕食をとる交流スペースとして活用する。
- ・H25. 4. 21 理事会において、建築準備委員会からの旧館を取り壊し「そこに女子寮を建築する案」を承認し、解体から設計・施工に関する工事日程を決める。これにともない、新館（100人寮）は今後15年程度男子寮として使用することも確認される。
- ・H25. 5. 12 評議員会において、旧館を取り壊し、女子寮を建築する案（総額4億2千万円、うち自己資金7千万円、銀行借入金3億5千万円、30年返済計画）を承認する。旧館の解体から設

計・施工まで、徳倉建設ならびに竹中工務店にお願いすることとする。なお、役割分担など両社の関わり方についての詳細については、両社の関係者から聞き取り調査をすることを建築準備委員会に委託する。

- ・H25.7.6 建築準備委員会は5.20と6.16に開催し、旧館の解体、建築設計と施工を徳倉建設に一括契約する方針を決定する。ただし、設計・施工の各段階でチェック機能を働かせるため、竹中工務店と「アドバイザー業務委託契約」することを決定する。直ちに理事長決裁を仰ぎ、基本設計のチェックを竹中工務店に依頼する。
- ・H25.7.31 理事長決裁を仰ぎ、竹中工務店と「アドバイザー業務委託契約」を結ぶ。
- ・H25.8.4 建築準備委員会において、女子寮建築の基本設計を了承し、徳倉建設に対し地質調査や確定測量を依頼する。
- ・H25.8.23 女子寮建築に関する進捗状況を中村委員長より後藤理事長に報告する。また、9月8日開催の理事会・評議員会で承認が必要な事項を確認する。
- ・H25.8.30 法人のメインバンクである三菱東京UFJ銀行と借り入れについて相談する。公益財団法人として、法人の土地を担保とすることは可能かどうか（後日、東京都より連絡があり、「別段差し支えない」とのこと）。徳倉建設から事業概要書および見積書を提出してもらい、確認する必要があることの指摘を受ける。
- ・H25.9.5 三菱東京UFJ銀行と打ち合わせをし、女子寮の事業概要書および概算書を手渡す。
- ・H25.9.8 理事会・評議員会において「女子寮建築に関する以下の案件を承認する。
  - 1) 旧館を取り壊しそこに女子寮を建築する
  - 2) 旧館の取り壊しから女子寮建築の設計・施工を徳倉建設と一括契約する  
理由は、徳倉建設社長がOBであること。同社がこうしたルームシェア方式の学生マンションを広く手掛けており、そのノウハウが生かせることなどの理由で選んだことも報告される。
  - 3) 建築設計・施工の各段階をチェックするために竹中工務店と「アドバイザー契約を結ぶ  
理由は、大手のマンション建築を手がけている立場から、設計・施工に至る各段階で決め細かなチェックをお願いできることから選んだことが報告される
  - 4) 解体から建築設計・施工までの総工費を4億2千万円とし、7千万円を自己資金から出費し、3億5千万円を三菱東京UFJ銀行からの融資とする
  - 5) 三菱東京UFJ銀行への返済期間は30年間（返済額：月額150万円）とし、そのため、女子寮の寮費は、低学年5万円、高学年5万5千円、院生6万円とする
  - 6) 三菱東京UFJ銀行から融資を受けるため、法人の土地を担保にする
  - 7) 9月末までに女子寮建築の本契約を徳倉建設と結ぶこととする

以上、これまでの経緯をご報告し、女子寮建築へなお一層のご支援・ご協力をお願いします。

**募集：改築積立金募金（1口） 20,000円**

**<2口以上募金された方は、協力者パネルに名前掲載>**

\*なお、普通会費・特別会費（4頁参照）もよろしくをお願いします。

平成 25 年度 O B 会費納入者一覧 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 15 日現在)

杉山 晃浩	8,000 (普特)	竹内 精司	8,000 (普特)	荻野 寿喜	5,000 (特)
梅村 耕一	3,000 (普)	金田 季三	3,000 (普)	永田 雅克	5,000 (特)
朝岡 郁雄	8,000 (普特)	神谷 寿興	3,000 (普)	*上 3 行まで、N047 に掲載済み	
小野 原士	3,000 (普)	小沢 洋介	63,000 (普改 3)	天野 仁	3,000 (普)
味岡 秀樹	28,000 (普特改 1)	宮田 隆之	3,000 (普)	岩佐 正輝	3,000 (普)
杉浦 淳雄	23,000 (普改 1)	鳥居 延行	48,000 (普特改 2)	山崎 憲伸	28,000 (普特改 1)
大竹 有二	3,000 (普)	山口 廸彦	3,000 (普)	平野 元	30,000 (特 2 改 1)
伴 謙吾	3,000 (普)	加藤 定彦	23,000 (普改 1)	水野 隆司	3,000 (普)
大坪ひろし	8,000 (普特)	伊藤 学	3,000 (普)	牧原 安孝	3,000 (普)
尾崎 良康	5,000 (特)	荒木 毅	3,000 (普)	深沢 泰司	8,000 (普特)
森 米二	3,000 (普)	鈴木 拓郎	3,000 (普)	山本 智永	43,000 (普改 2)
村松 誠	23,000 (普改 1)	富川 学	8,000 (普特)	大沼 敏行	23,000 (普改 1)
福間 淳	3,000 (普)	高山 潤一	3,000 (普)	多崎 央	3,000 (普)
稲垣 裕章	8,000 (普特)	都築 讓	23,000 (普改 1)	安田 隆清	3,000 (普)
渡辺 乃康	3,000 (普)	谷川 誠	3,000 (普)	鈴木 章悦	3,000 (普)
築瀬 正邦	5,000 (特)	南 孝三郎	8,000 (普特)	増村 清人	48,000 (普特改 2)
村田 寿	3,000 (普)	外山滋比古	3,000 (普)	谷川 憲三	8,000 (普特)
水野 克宣	3,000 (普)	前田 稔	8,000 (普特)	前田 文彦	8,000 (普特)
佐藤 公彦	48,000 (普特改 2)	川出 巖郎	3,000 (普)	河野 幸壺	23,000 (普改 1)
紀岡 義博	3,000 (普)	城處 求行	3,000 (普)	田中 寿英	3,000 (普)
岩瀬 琢也	40,000 (改 2)	鈴木 義久	3,000 (普)	磯村 真人	5,000 (特)
河崎 吉廣	40,000 (改 2)	都築 重和	3,000 (普)	日高 明	20,000 (改 1)
横山 泰久	5,000 (特)	小早川 高	3,000 (普)	藤関 昌己	8,000 (普特)
鈴木 基秀	3,000 (普)	石川吉之助	3,000 (普)	鈴木 一元	8,000 (普特)
竹内 義人	23,000 (普改 1)	紅林 淳	8,000 (普特)	上原 智史	8,000 (普特)
芦沢 次郎	43,000 (普改 2)	尾崎 哲則	25,000 (特改 1)	片山 到	3,000 (普)
鈴木 健壤	3,000 (普)	長浜 隆	3,000 (普)	片岡 大到	7,500 (百年史)
田淵 学	43,000 (普改 2)	福井 康光	23,000 (普改 1)	中村 民雄	108,000 (普特改 5)
財津 敦毅	5,000 (特)	大林 市郎	28,000 (普特改 1)	名倉 孝行	3,000 (普)
松井 敏夫	3,000 (普)	岩月 一詞	3,000 (普)	内田 肅	3,000 (普)
山田 真巳	3,000 (普)	伊藤 貴司	3,000 (普)	杉浦 志樹	3,000 (普)
森本 和樹	8,000 (普特)	稲垣 正浩	3,000 (普)	藤澤 孝好	3,000 (普)
荒牧 功	3,000 (普)	稲垣 暁	3,000 (普)	太田 雅人	23,000 (普改 1)
縣 通夫	5,000 (特)	小川 源八	3,000 (普)	川崎 英輝	23,000 (普改 1)
仁枝 洋昭	3,000 (普)	北村 彰	68,000 (普特改 3)	井関 豊	3,000 (普)
榊原 潤	5,000 (特)	工藤 圭章	8,000 (普特)	石川 邦雄	3,000 (普)
昭和 49・50 年卒寮生有志一同		6,200		鬼頭 誠	25,000 (特改 1)
真弓 隆浩	3,000 (普)	後藤 昌彦	48,000 (普特改 2)	小原 意精	20,000 (改 1)
川出伊左男	3,000 (普)	小笠原昇一	3,000 (普)	山本 淳	3,000 (普)
小菅 豊弘	3,000 (普)	後藤 彰彦	25,000 (特改 1)	米田 吉孝	3,000 (普)

服部 具昭 3,000 (普)

\* (普) : 普通会費 (特) : 特別会費 (改1) : 改築資金積立金・口数  
(百) : 創立百年史

平成 25 年度OB会費納入について

三河郷友会OB会会則にもとづき、平成 25 年度の会費をご納入下さいますようお願いいたします。  
なお、ご入金は郵便振替 (00150-8-27434 三河郷友会OB会) でお願ひします。

普通会費	3,000円
特別会費 (1口)	5,000円
改築積立金募金 (1口)	20,000円
創立百年史 (残部僅少)	7,500円

\*特別会費、改築積立金募金は、公益財団法人三河郷友会へ財政援助金 (寄付金) として計上させていただきます。

..... <あ と が き> .....

ここに掲載した「女子寮建築の経緯および準備状況について」は、理事会・評議員会での議論を踏まえて一部改訂しています。また、内装工事が完了した新館 (100 人寮) について、今後は男子寮 (通称：三河寮) として活用していくことも書き加えました。

なお、理事会・評議員会の席上、旧館 (50 人寮) の取り壊しを惜しむOB会を開催してはどうかという議がおこり、11 月 17 日 (日) に開催することとなりました。この会報は開催通知といっしょに発送させていただきますので、多くのOB各位が集まることを願っています。

(寮監 中村民雄)

OB会事務局 〒112-0002  
東京都文京区小石川 5-19-37  
公益財団法人 三河郷友会内  
TEL 03-3946-0342 (事務長：酒井)  
Mikawagoyukai2009@oasis.ocn.ne.jp